

柏市障害者計画策定のための基礎調査結果報告書

(構成案及びページイメージ)

I 構成案

構成	掲載項目	想定 ページ数
第1章 基礎調査の実施概要	基礎調査の全体像、各調査の方法や回収結果	4
第2章 障害者向けアンケート調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性 ・住まいについて ・日中の過ごし方や外出、社会参加について ・情報の確保について ・障害についての理解や差別解消について ・困りごとの相談について ・障害福祉サービスの利用について ・災害時の対応について ・将来のことについて ・こどものことについて<対象者が17歳以下の方> ・就労について<対象者が18歳以上の方> ・市の障害者施策について 	120
第3章 市民向けアンケート調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性 ・障害福祉や障害のある人に関する理解について ・障害のある人との交流について ・ボランティア活動について ・障害のある人の地域生活について 	40
第4章 障害福祉関係団体ヒアリング調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の概要 ・団体のヒアリング項目ごとの意見概要 	20
第5章 委託相談支援事業所ヒアリング調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の概要 ・事業所のヒアリング項目ごとの意見概要 	20
第6章 基礎調査結果のまとめ	現行計画の施策ごとの調査結果概要、現状やニーズ、課題のまとめ	13
参考資料 調査票	障害者向けアンケート調査、市民向けアンケート調査、ヒアリング調査(障害福祉関係団体、委託相談支援事業所)の調査票画像	24

II ページイメージ案

第1章 基礎調査の実施概要

1. 基礎調査の全体像

柏市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現行の「ノーマライゼーションかしわプラン2024」を見直し、2027(令和9)年度から始まる新たな計画を策定する予定です。

この計画の策定にあたって、障害者の生活実態や自立した生活を送るまでの課題、今後の意向等を把握することを目的として、アンケート調査とヒアリング調査からなる基礎調査を実施しました。

調査方法	調査対象	調査数	調査内容
アンケート調査	障害者	4,500人 (配布数)	障害当事者の実情や日常生活における困りごと、障害福祉に対するニーズなどを把握することを目的として、各種手帳や受給者証所持者を無作為抽出し、アンケートを配布。
	18歳以上の市民 (上記障害者に該当しない方)	3,000人 (配布数)	地域共生社会の実現に向けて、障害当事者以外の障害福祉に関する意識や関心、障害者との交流機会などを把握することを目的として、18歳以上の市民を無作為抽出し、アンケートを配布。
ヒアリング調査	障害福祉関係団体	9団体	当事者団体及び家族会等の団体における活動実態や、優先的取組など、アンケート調査からは見えてこない困りごとや課題を把握することを目的として、事前調査票の配布とヒアリングを実施。
	委託相談支援事業所	4事業所	委託相談支援事業所における相談内容や、相談を通じて把握する地域課題など、アンケート調査からは見えてこない課題や当事者等のニーズを把握することを目的として、事前調査票の配布とヒアリング調査を実施。

2. 調査の概要

(1) 障害者向けアンケート調査

● 目的：障害当事者の日常生活の実態や障害福祉に対するニーズなどを把握するため

● 調査地域：柏市全域

● 調査期間：2025(令和7)年8月12日(火)～9月12日(金)

● 調査方法：郵送で調査票を配布・回収(インターネットでの回答可)

● 調査対象：下表の対象者要件に該当する方について、無作為に対象者を抽出

なお、18歳以上の年齢区分における対象者ごとの人数については、市内の対象者要件に該当する人数(令和6年度末時点)の割合に応じて設定を行った。

年齢区分	対象者要件	人数
18歳以上	身体障害者手帳	1,340人
	療育手帳	260人
	精神障害者手帳＋自立支援医療受給者証(精神通院)	1,010人
	特定疾病療養者見舞金	390人
18歳未満	各手帳＋受給者証(福祉サービス)	1,500人
合計		4,500人

・調査票の記入にあたる留意点

調査票は基本的に障害当事者である宛名の本人に回答を依頼しているが、本人が記入できない場合は代理の方が本人の立場になって記入している。

● 回収結果

	今回調査	前回調査(令和4年度実施)
配布数	4,471票 (対象4,500票－郵便不着 29票)	3,446票 (対象3,500票－郵便不着 54票)
回収数	2,131票 (紙・インターネットの重複回答1件を含む) 【回答方法内訳】 紙 1,629票、インターネット 502票	1,583票(白票 12票を含む) 【回答方法内訳】 紙 1,281票、インターネット 302票
回収率	47.6%(有効回答率 47.6%)	45.9%(有効回答率 45.6%)

(2) 市民向けアンケート調査

- 目的：一般市民の障害に関する意識や関心、障害者との交流機会などを把握するため
- 調査地域：柏市全域
- 調査期間：2025(令和7)年8月12日(火)～9月12日(金)
- 調査方法：はがきで調査を案内、インターネットで回答
- 調査対象：18歳以上の市民 3,000 人から無作為に対象者を抽出
- 回収結果

	今回調査	前回調査(令和4年度実施)
配布数	3,000 票	991 票 (対象 1,000 票 - 郵便不着 9 票)
回収数	382 票	389 票(白票5票を含む) 【回答方法内訳】 紙 273 票、インターネット 116 票
回収率	12.7%(有効回答率 12.7%)	39.3%(有効回答率 38.7%)

(3) 障害福祉関係団体ヒアリング調査

- 目的：各団体における活動実態や課題、優先的取組などを聞き取るため
- 調査期間：2025(令和7)年9月22日(月)～
- 調査方法：事前に調査票を配布し、後日詳細について聞き取り調査(ヒアリング)を実施
- 調査対象：以下の9団体

団体名	略称	関連する障害種別
柏市視覚障害者協会	視覚	視覚障害
柏市聴覚障害者協会	柏聴協	聴覚障害
千葉県中途失聴者・難聴者協会柏地区会	中難協	聴覚障害
柏市肢体不自由児(者)を育てる会	育てる会	肢体不自由
柏市手をつなぐ育成会	育成会	知的障害
柏市自閉症協会	自閉症	発達障害
精神障害者家族会よつば会	よつば	精神障害
千葉県パーキンソン病友の会	友の会	難病
柏市心身障害者福祉連絡協議会※	柏障連	視覚障害、聴覚障害、 肢体不自由、知的障害、 発達障害、精神障害

※柏市視覚障害者協会、柏市聴覚障害者協会、柏市肢体不自由児(者)を育てる会、柏市手をつなぐ育成会、柏市自閉症協会、精神障害者家族会よつば会の6団体で組織

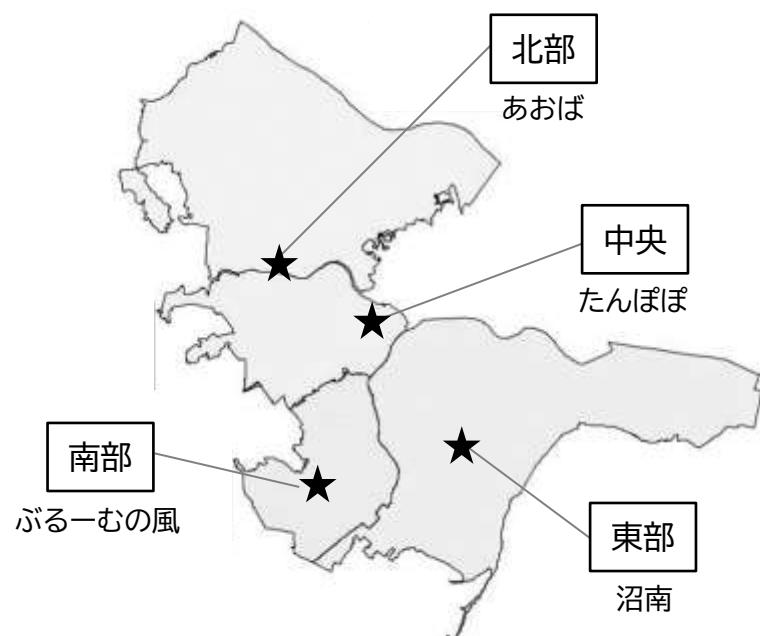
(4) 委託相談支援事業所ヒアリング調査

- 目的：各事業所における地区ごとの活動実態や課題、対応策などを聞き取るため
- 調査期間：2025(令和7)年9月22日(月)～9月26日(金)
- 調査方法：事前に調査票を配布し、後日詳細について聞き取り調査(ヒアリング)を実施
- 調査対象：市内の4つの地区をそれぞれ担当する以下の4事業所

事業所名	担当地区
社会福祉法人青葉会 地域生活相談センターシャル	北部
社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター	中央
社会福祉法人ぶるーむ ぶるーむの風相談室	南部
社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南	東部

*委託相談支援事業所とは

本市では、地域で身近な相談ができるように、柏市指定相談支援事業所のうち4か所に相談支援事業を委託しています。これら委託相談支援事業所では、福祉サービスの利用やその他さまざまな相談に対応するほか、地域における相談支援・ケアマネジメント体制強化のための研修や人材交流等を行っています。



第2章 障害者向けアンケート調査の結果

1. 報告書内容についての留意点

- 障害種別は、アンケート調査の回答により、以下のように区分しています。

表記	対象者
障害種別	視覚障害 問4-1(身体障害の種類と等級)で「視覚障害」と回答した者
	聴覚・平衡・音声言語・そしゃく機能障害 問4-1(身体障害の種類と等級)で「聴覚・平衡機能障害」「音声・言語機能障害・そしゃく機能障害」と回答した者
	肢体不自由 問4-1(身体障害の種類と等級)で「肢体不自由」と回答した者
	内部機能障害 問4-1(身体障害の種類と等級)で「内部機能障害」と回答した者
	知的障害 問7(診断や指摘を受けたもの)で「知的障害」と回答した者 問4(障害者手帳の種類と等級)で「療育手帳」と回答した者(ただし、問7では「知的障害」「発達障害(自閉症スペクトラムを含む)」と回答していない者)
	発達障害 問7(診断や指摘を受けたもの)で「発達障害(自閉症スペクトラムを含む)」と回答した者
	精神障害 問4(障害者手帳の種類と等級)で「精神障害者保健福祉手帳」、 問5(受給者証の有無)で「自立支援医療受給者証(精神通院)」のいずれかに回答した者
	高次脳機能障害 問7(診断や指摘を受けたもの)で「高次脳機能障害」と回答した者
	難病 問7(診断や指摘を受けたもの)で「特定医療費(指定難病)受給者証」「小児慢性特定疾病医療受給者証」と回答した者
	未認定 以下の全てに該当する者 ・問4(障害者手帳の種類と等級)で「いずれも持っていない」と回答した者 ・問5(受給者証の有無)で「いずれも持っていない」と回答した者 ・問6(障害認定区分)で「認定を受けていない」と回答した者 ・問7(診断や指摘を受けたもの)で「いずれの診断や指摘を受けたことがない」と回答した者
わからない	以下の全てに該当する者 ・問4(障害者手帳の種類と等級)で「いずれも持っていない」と回答した者 ・問5(受給者証の有無)で「いずれも持っていない」と回答した者 ・問6(障害認定区分)で「わからない」と回答した者 ・問7(診断や指摘を受けたもの)で「いずれの診断や指摘を受けたことがない」と回答した者

- 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- コメント及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。このため、単数回答の場合、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 複数回答の場合、図中にMA(いくつでも回答可)、3LA(3つまで回答可)と記載しています。
- 障害種別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体を示す数値とは一致していません。
- 表内において、最も高い割合には濃い青色、2番目に高い割合には薄い青色を付けています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。
- コメントに掲載している数値について、クロス集計表の数値に太字・下線を付けています。
- 母数が少ないものについて、コメントを省略している場合があります。
- 論理的に矛盾する回答や判別が困難な回答については、集計から除外しています。
(例:問2(年齢)が39歳以下で、問8(要介護度)で要支援・要介護度を回答している)

2. 回答者の属性について

●問2 2025年4月1日現在の年齢をお答えください(数字を記入)。

【全体】

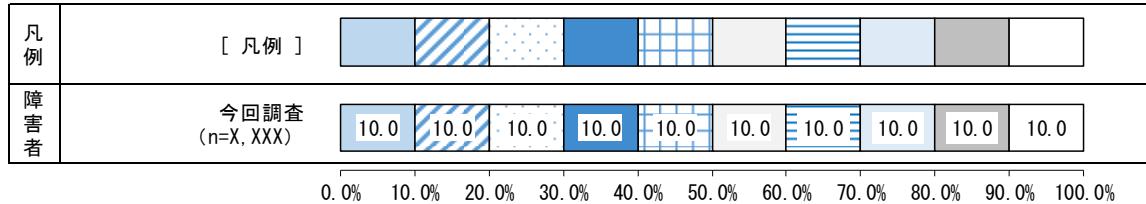
- 「●●●」が最も多く X.X%, 次いで「●●●」が X.X%, ……となっています。
- 前回調査と比較すると、「●●●」が X.X ポイント増加しています。

【障害種別】

- 特に●●障害では、「●●●」が X.X% となっています。

【年齢】

0 5 歳	6 1 歳	1 2 歳	1 5 歳	1 8 歳	3 0 歳	4 0 歳	5 0 歳	6 5 歳	7 5 歳 以上
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------------



【年齢】障害種別

単位 : %

母数 (n)	年齢	問2 年齢										
		0 5 歳	6 1 歳	1 2 歳	1 5 歳	1 8 歳	3 0 歳	4 0 歳	5 0 歳	6 5 歳	7 5 歳 以上	
今回 調査	全体	X, XXX	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	20.0	5.0	5.0
	視覚障害	XX	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	▼ 5.0	△ 30.0	5.0	5.0
	聴覚・平衡・音声言語・そしゃく機能障害	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	肢体不自由	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	内部機能障害	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	知的障害	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	発達障害	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	精神障害	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	高次脳機能障害	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	難病	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	未認定	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	わからない	XX	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

各設問につき以下の構成とします(図表はダミーです)。

- ・設問文とコメント
- ・全体グラフ(前回調査との比較を含む)
- ・全体の障害種別の表

3. 日中の過ごし方や外出、社会参加について

●問11 平日の日中は、どのように過ごしていますか。(○はいくつでも)。

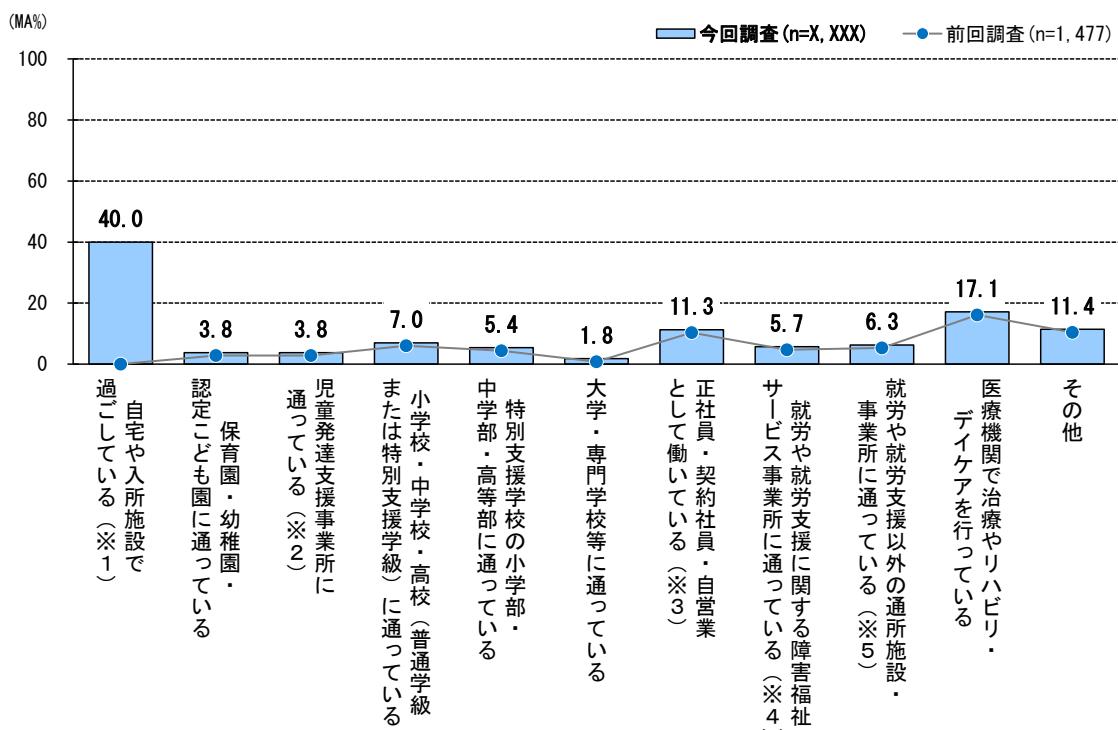
【全体】

- 「自宅や入所施設で過ごしている」が最も多く X.X%, 次いで「●●●」が X.X%, ……となっています。
- 前回調査と比較すると、「●●●」が X.X ポイント増加しています。
- 「その他」には「●●●」「●●●」などが挙げられています。

【障害種別】

- 特に●●障害では、「●●●」が X.X%となっています。

【平日の日中の過ごし方(複数回答)】



* 前回調査では、設問を「昼間に主に通っているところはどこですか」としている。

【選択肢の表記について】

- (※1) 前回調査では、「自宅や入所施設で過ごしている」の設定なし。
- (※2) 前回調査では、「児童発達支援事業所・医療型児童発達支援事業所」。
- (※3) 前回調査では、「職場(正社員・自営業)」は、「正社員・契約社員・自営業として働いている」。
- (※4) 調査票では、「就労移行支援事業所・就労継続支援事業所(A型・B型)」、または就労の支援をする障害福祉サービス事業所に通っている」。
- (※5) 調査票では、「8以外の通所施設・事業所に通っている」。

【平日の日中の過ごし方(複数回答)】障害種別

単位：%

		母数 (n)	問11 平日の日中の過ごし方											その他
て自 い宅 るや 入所 施設 で過 ごし	ど保 育園 園に・ 通幼 稚園 い・ る認 定こ		通つ 児童 て発達 支援事 業所に	援(小 学級通 校)学・ に通ま ったは・ い特高 別校支	～小 学普 通校 級中 学校 に小学 部の	中特 別部 ・援 高學 等校 部の	い大 学・ 大學 の専 門學 校等に に通つ て・	業正 社員 とし て働 いて 契約 社員 いサ ー自 営	に障 害就 福や て就 いサ ー支 援に 事務 事務 業す る所	い所 就業 施設 ・就 事業 支援 に通 以外 の通	り医 療機 イケア 行や つり ハ いビ			
今回 調査	全体	X, XXX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	視覚障害	XX	40.0	3.8	3.8	10.0	△ 15.4	1.8	11.3	5.7	6.3	▼ 7.1	▼ 1.4	
	聴覚・平衡・音声言語・そしゃく機能障害	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	肢体不自由	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	内部機能障害	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	知的障害	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	発達障害	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	精神障害	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	高次脳機能障害	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	難病	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	未認定	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	
	わからない	XX	40.0	3.8	3.8	7.0	5.4	1.8	11.3	5.7	6.3	17.1	11.4	

12. 市の障害者施策について

●問49 柏市の資源や財源は限られており、特に必要な取組から優先して実施していくなければなりません。今後、柏市の障害福祉の取組について、特に優先して力を入れてほしいものは何ですか(○は3つまで)。

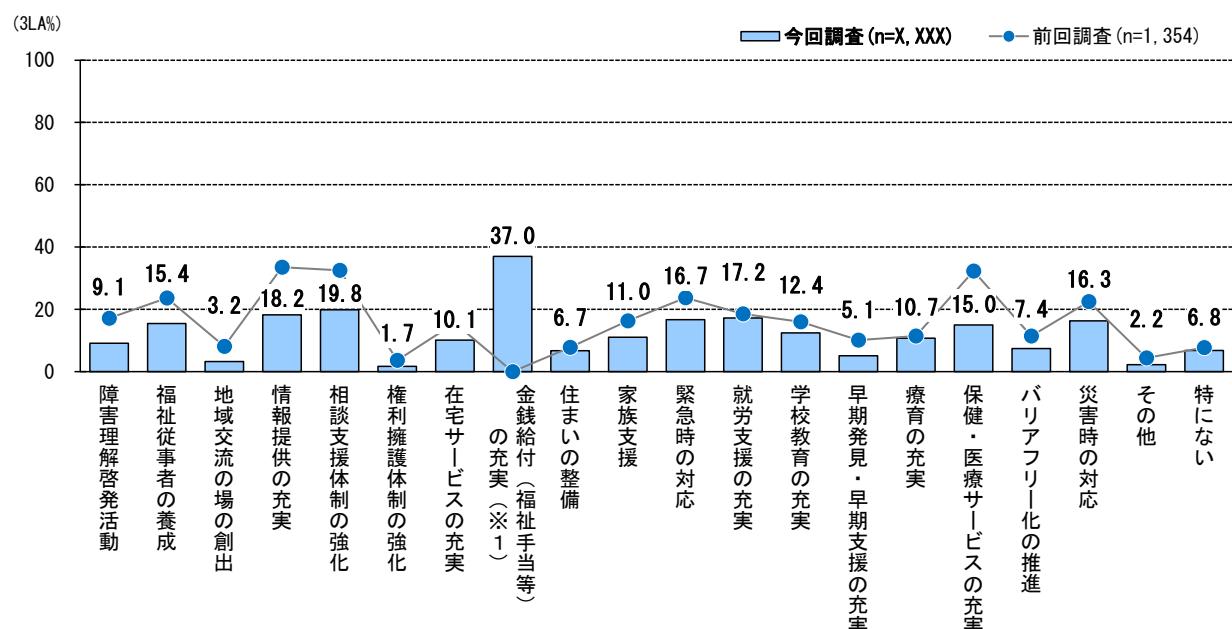
【全体】

- 「●●●」が最も多くX.X%，次いで「●●●」が X.X%，……となっています。
- 前回調査と比較すると、「●●●」が X.X ポイント増加しています。
- 「その他」には「●●●」「●●●」などが挙げられています。

【障害種別】

- 特に●●障害では、「●●●」が X.X% となっています。

【柏市の障害福祉の取組で優先して力を入れてほしいもの(3つまで回答)】



【選択肢の表記について】

(※1) 前回調査では、「金銭給付(福祉手当等)の充実」の設定なし。

【柏市の障害福祉の取組で優先して力を入れてほしいもの(3つまで回答)】障害種別

単位 : %

		母数 (n)	問49 柏市の障害福祉の取組で優先して力を入れてほしいもの									
			動 障 害 理 解 啓 発 活	成 福 祉 従 事 者 の 養	創 地 出 境 交 流 の 場 の 場	情 報 提 供 の 充 実	強 相 談 支 援 体 制 の 充 実	強 権 化 擁 護 体 制 の 充 実	充 在 実 宅 サ ー ビ ス の 充 実	手 金 当 錢 紙 給 付 等 の 充 実	住 ま い の 整 備	家 族 支 援
今 回 調査	全体	X, XXX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	視覚障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	聴覚・平衡・音声言語・そしゃく機能障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	肢体不自由	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	内部機能障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	知的障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	発達障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	精神障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	高次脳機能障害	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	難病	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	未認定	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	わからない	XX	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0	40.0	35.0	35.0	30.0	30.0

単位 : %

		母数 (n)	問49 柏市の障害福祉の取組で優先して力を入れてほしいもの									
			緊 急 時 の 対 応 の 充 実	就 労 支 援 の 充 実	学 校 教 育 の 充 実	支 早 援 期 の 発 充 見 実 ・ 早 期	療 育 の 充 実	ビ 保 健 の 充 実	の パ ー リ ア フ リ ー 化	災 害 時 の 対 応	そ の 他	特 に な い
今 回 調査	全体	X, XXX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	視覚障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	聴覚・平衡・音声言語・そしゃく機能障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	肢体不自由	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	内部機能障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	知的障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	発達障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	精神障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	高次脳機能障害	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	難病	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	未認定	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	わからない	XX	25.0	25.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0

●問50 柏市の障害者施策について、ご意見・ご要望があれば、関連の深い分野を選択して、ご自由に記入してください(○はいくつでも)。

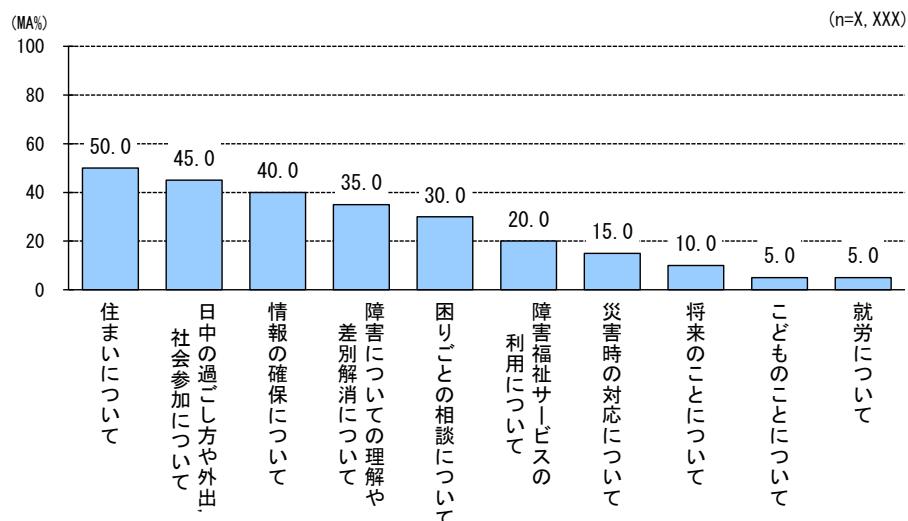
【全体】

- 「●●●」が最も多く X.X%, 次いで「●●●」が X.X%, ……となっています。

【障害種別】

- 特に●●障害では、「●●●」が X.X% となっています。

【柏市の障害者施策についての意見(複数回答)】



【柏市の障害者施策についての意見(複数回答)】障害種別

単位 : %

調査項目	母数(n)	問50 柏市の障害者施策についての意見										
		住まいについて	日中の過ごし方や外出	情報の確保について	困りごとの相談について	障害福祉サービスの利用について	災害時の対応について	将来のことについて	こどものことについて	就労について		
全体	X, XXX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
視覚障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
聴覚・平衡・音声言語・そしゃく機能障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
肢体不自由	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
内部機能障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
知的障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
発達障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
精神障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
高次脳機能障害	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
難病	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
未認定	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	
わからない	XX	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	

1	住まいについて	●件
	<input type="radio"/> ●●●。 <input type="radio"/> ●●●。	
2	日中の過ごし方や外出、社会参加について	●件
	<p>《日中の過ごし方》</p> <input type="radio"/> ●●●。 <input type="radio"/> ●●●。 <p>《外出》</p> <input type="radio"/> ●●●。 <input type="radio"/> ●●●。 <p>《社会参加》</p> <input type="radio"/> ●●●。 <input type="radio"/> ●●●。	

自由意見は分野別に記載します。

第3章 市民向けアンケート調査の結果

1. 報告書内容についての留意点

- 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- コメント及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。このため、単数回答の場合、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 複数回答の場合、図中にMA(いくつでも回答可)、3LA(3つまで回答可)と記載しています。
- 年齢など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体を示す数値とは一致していません。
- 表内において、最も高い割合には濃い青色、2番目に高い割合には薄い青色を付けています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。
- コメントに掲載している数値について、クロス集計表の数値に太字・下線を付けています。
- 母数が少ないものについて、コメントを省略している場合があります。

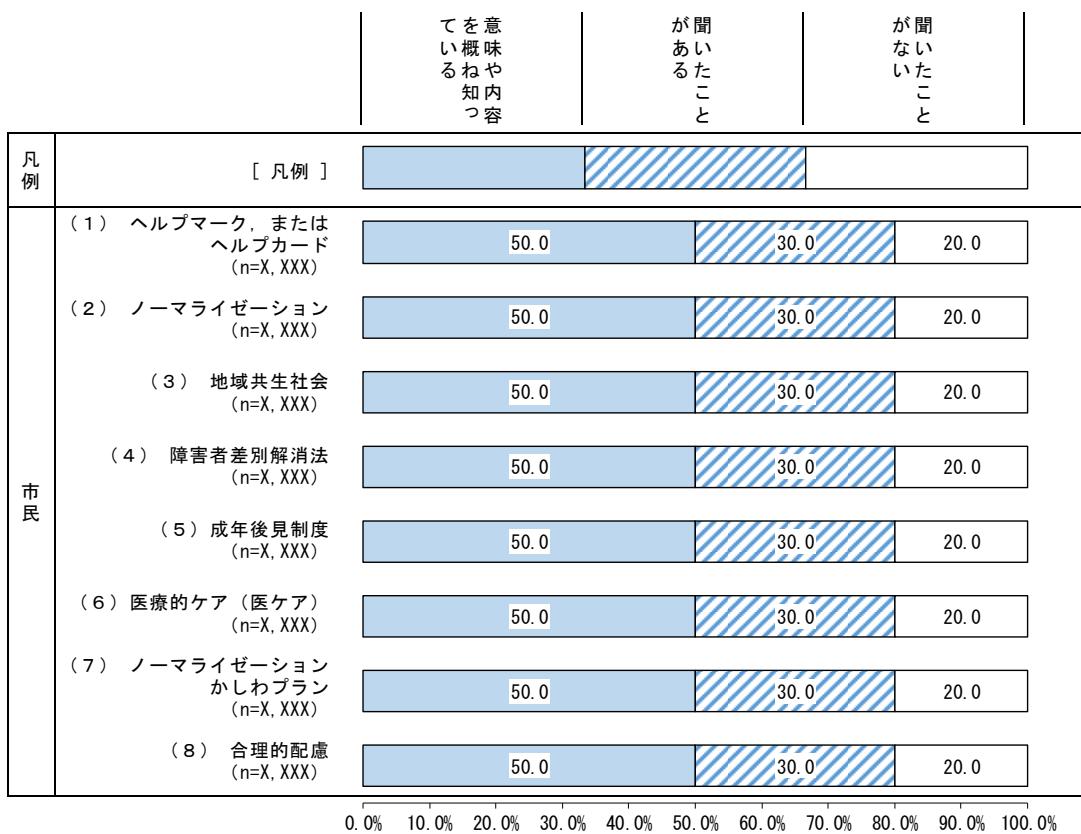
3. 障害福祉や障害のある人に関する理解について

●問2 あなたは障害福祉に関する次の用語を知っていますか。(それぞれ1つを選択)

【全体】

- 「意味や内容を概ね知っている」が最も多いのは「●●●」で X.X%, 次いで「●●●」が X.X%, ……となっています。

【障害福祉に関する用語の認知度】



各設問につき以下の構成とします(図表はダミーです)。

- ・設問文とコメント
- ・全体グラフ(前回調査との比較を含む)
- ・全体の年齢別の表

(1) ヘルプマーク、またはヘルプカード

【全体】

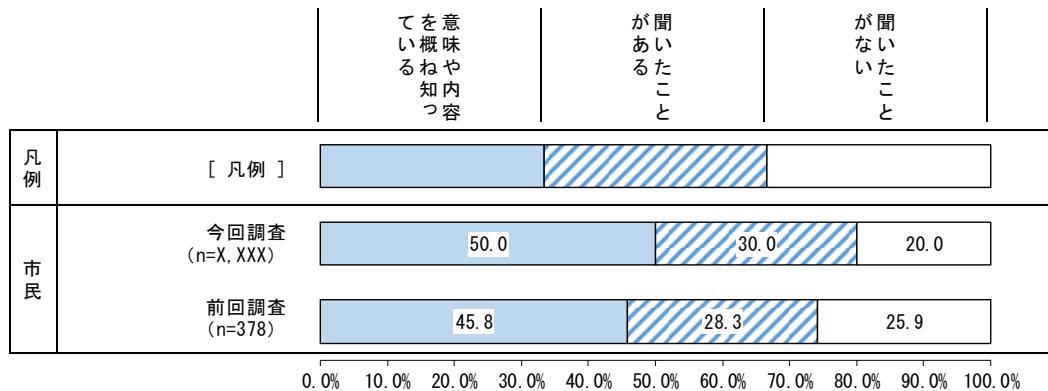
○ 「●●●」が最も多く X.X% となっています。

○ 前回調査と比較すると、「●●●」が X.X ポイント増加しています。

【年齢別】

○ 特に ●～●歳では、「●●●」が X.X% となっています。

【(1)ヘルプマーク、またはヘルプカードの認知度】



【(1)ヘルプマーク、またはヘルプカードの認知度】年齢別

		母数 (n)	問2 (1) ヘルプマーク、 またはヘルプカード			単位 : %
			る概意味 ねや つ内 て容 いを	あ聞 い た こと が	な聞 い た こと が	
今 回 調 査	全体	X, XXX	50.0	30.0	20.0	
	18～29歳	XX	▼ 40.0	△ 50.0	10.0	
	30～39歳	XX	50.0	30.0	20.0	
	40～49歳	XX	50.0	30.0	20.0	
	50～64歳	XX	50.0	30.0	20.0	
	65～74歳	XX	50.0	30.0	20.0	
	75歳以上	XX	50.0	30.0	20.0	

●問3 あなたは障害福祉や障害のある人についてどこかで知る・学ぶ機会がありましたか。(あてはまるものすべてを選択)

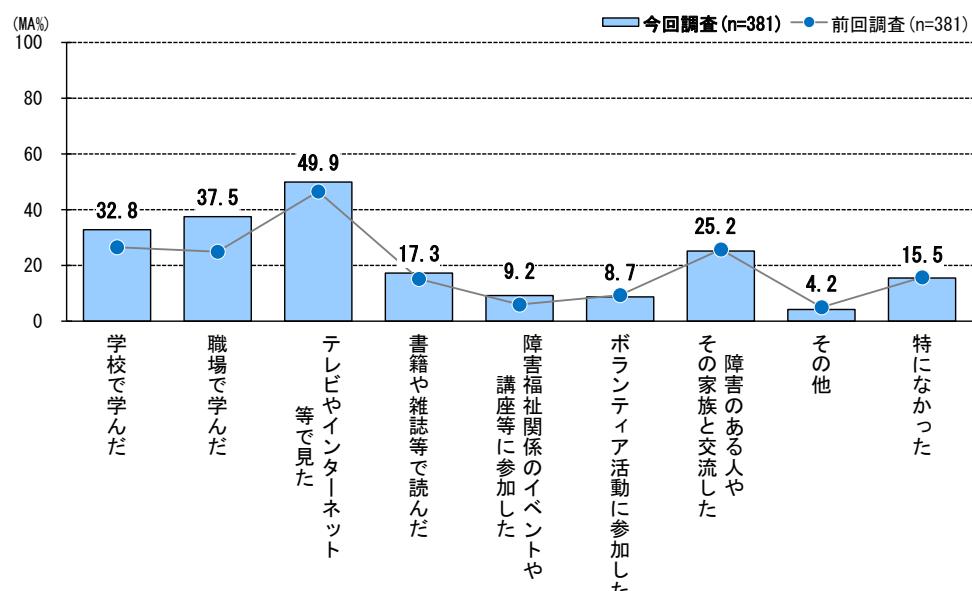
【全体】

- 「●●●」が最も多く X.X%, 次いで「●●●」が X.X%, ……となっています。
- 前回調査と比較すると、「●●●」が X.X ポイント増加しています。
- 「その他」には「●●●」「●●●」などが挙げられています。

【年齢別】

- 特に●～●歳では、「●●●」が X.X% となっています。

【障害福祉や障害のある人について知る・学ぶ経験】



【障害福祉や障害のある人について知る・学ぶ経験】年齢別

単位 : %

		母数 (n)	問3 障害福祉や障害のある人について知る・学ぶ経験									
今回調査			学校で学んだ	職場で学んだ	ネット等で見たり	書籍や雑誌等で読んだ	障害福祉関係のイベントや講座等に参加した	ボランティア活動に参加した	障害のある人やその家族と交流した	にボランティア活動	の障害のある人と交流した	その他
	全体	X, XXX	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	
	18～29歳	XX	△ 50.0	▼ 10.0	40.0	40.0	△ 30.0	△ 20.0	30.0	5.0	10.0	
	30～39歳	XX	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	
	40～49歳	XX	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	
	50～64歳	XX	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	
	65～74歳	XX	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	
	75歳以上	XX	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	

第4章 障害福祉関係団体ヒアリング調査の結果

1. ヒアリング調査の概要

(1) 対象団体

市内で活動する以下の9団体を対象に調査を実施しました。

団体名	略称	関連する障害種別
柏市視覚障害者協会	視覚	視覚障害
柏市聴覚障害者協会	柏聴協	聴覚障害
千葉県中途失聴者・難聴者協会柏地区会	中難協	聴覚障害
柏市肢体不自由児(者)を育てる会	育てる会	肢体不自由
柏市手をつなぐ育成会	育成会	知的障害
柏市自閉症協会	自閉症	発達障害
精神障害者家族会よつば会	よつば	精神障害
千葉県パーキンソン病友の会	友の会	難病
柏市心身障害者福祉連絡協議会*	柏障連	視覚障害, 聴覚障害, 肢体不自由, 知的障害, 発達障害, 精神障害

*柏市視覚障害者協会、柏市聴覚障害者協会、柏市肢体不自由児(者)を育てる会、柏市手をつなぐ育成会、柏市自閉症協会、精神障害者家族会よつば会の6団体で組織

(2) ヒアリングの内容

以下の9つの分野に関する現状を5段階*で評価していただき、各団体が認識する課題や優先的な取組が必要な分野について意見を聴取しました。また、4つの分野(*)においては、各団体の取組状況を確認しました。

*「とてもそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の5つの尺度から選択

カテゴリ	評価内容	団体の取組状況
日中の過ごし方や外出、社会参加	外出や社会参加をしやすい環境は整っていると思うか	*
情報の確保	障害福祉に関する情報は入手しやすいと思うか	*
障害についての理解や差別解消	障害についての理解や差別解消は進んでいると思うか	*
困りごとの相談	困ったときの相談がしやすいと思うか	
障害福祉サービスの利用	障害福祉サービスを利用しやすいと思うか	
災害時の対応	災害時の支援について整備が進んでいると思うか	*
将来のこと	「将来のこと」「親亡き後」の支援体制は整っていると思うか	
こども	18歳未満のこどもとその家族は適切な支援につながっていると思うか	
就労	就労支援体制は充実していると思うか	

2. ヒアリング調査の結果

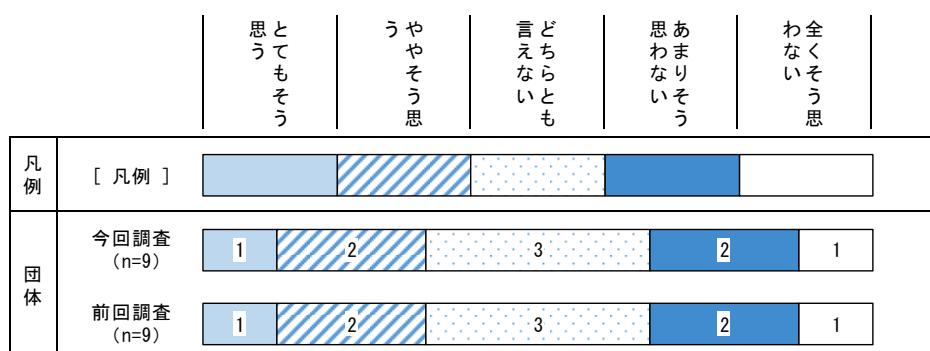
(1) 日中の過ごし方や外出、社会参加について

- 前回調査を行った3年前に比べて、障害のある方が外出や社会参加をしやすい環境は整っていると思いますか(✓はひとつ)。

【評価】

- 「●●●」がX団体、「●●●」がX団体となっています。
- 前回調査と比較すると、「●●●」が増加しています。
- 評価の理由として、障害福祉サービス事業所の増加等によって外出がしやすくなっているなどの意見が挙げられました。一方、外出を支援するサービスについての情報を知らない人がまだ多いとの意見が挙げられました。

【3年前に比べて、障害のある方が外出や社会参加をしやすい環境は整っている】



【障害者全般に共通する意見】

- 外出時の支援者が高齢化のため不足しており、利用回数や時間が制限されている。
- 。

【障害特性別の意見】

- 。
- 。

各設問につき以下の構成とします(図表はダミーです)。
・評価コメント
・評価グラフ(前回調査との比較を含む)
・障害者全般に共通する意見
・障害特性別の意見

第5章 委託相談支援事業所ヒアリング調査の結果

1. ヒアリング調査の概要

(1)対象団体

市内の4つの地区をそれぞれ担当する以下の4事業所を対象に調査を実施しました。

事業所名	担当地区
社会福祉法人青葉会 地域生活相談センターシャル	北部
社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター	中央
社会福祉法人ぶるーむ ぶるーむの風相談室	南部
社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南	東部

(2)ヒアリングの内容

以下の分野ごとに、それぞれの事業所が担当する地区における状況について意見を聴取しました。

カテゴリ	評価内容
包括的相談支援体制の構築	・体制づくりの中核機関として、担当する地域の包括的相談支援体制の構築の達成度※ → 達成できていること・課題・その対応策
権利擁護体制の充実	・一次相談窓口として、権利擁護体制の充実の達成度※ → 達成できていること・課題・その対応策
地域における相談支援	・地域における委託相談について、令和6(2024)年度に相談件数が多いものと相談の傾向 ・困難事例と、困難事例の中で事業所が果たした役割
地域における課題	・委託相談支援を通じて発見される課題
人材育成	・相談支援専門員の資質向上に向けた課題と対応策 ・相談支援専門員及び相談支援員の確保や充実に向けた効果的な取組

※「達成できている」「概ね達成できている」「どちらとも言えない」「あまり達成できていない」「全く達成できていない」の5つの尺度から選択

2. ヒアリング調査の結果

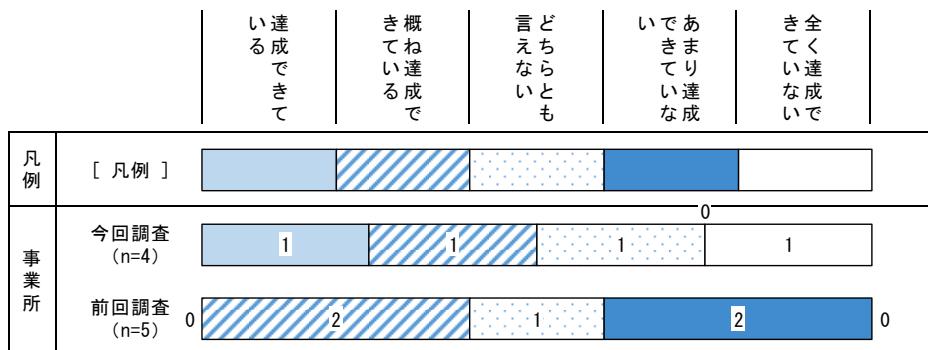
(1) 包括的相談支援体制の構築について

- 体制づくりの中核機関として、担当する地域の包括的相談支援体制の構築について、どの程度達成できていると思いますか(✓はひとつ)。

【評価】

- 「●●●」が X 事業所、「●●●」が X 事業所となっています。
- 前回調査と比較すると、「●●●」が増加しています。

【担当する地域の包括的相談支援体制の構築についての評価】



【評価に関する内容】

[包括的相談支援体制の効果的な運用]

- 。
- 。

各設問につき以下の構成とします(図表はダミーです)。

- ・評価コメント
- ・評価グラフ(前回調査との比較を含む)
- ・評価に関する内容(カテゴリ分けをする)

第6章 基礎調査結果のまとめ

ノーマライゼーションかしわプラン2024は、4つの柱を基本方針とし、柱ごとに施策や具体的な取組を実施しています。

第5章では、現行プランの柱ごとに、本調査の結果をまとめます。

● ノーマライゼーションかしわプラン 2024 施策体系表

大施策【柱】	中施策【施策】	小施策【取組】
柱1 みんなで守り寄り添う共生のまちづくり	① 包括的相談支援体制の充実(重点)	1 相談支援・ケアマネジメント体制の充実
		2 多分野の協働による相談支援の充実
		1 成年後見制度の利用促進
	② 権利擁護体制の充実	2 虐待の防止と早期発見・迅速な対応
		3 障害者差別の解消及び理解啓発
		1 情報の提供と利活用の充実
	③ 情報アクセシビリティの充実	2 意思疎通支援の充実
		1 地域生活を支える場の充実
		2 高齢障害・重度障害等にも対応できる環境の整備
	④ 暮らしを支える基盤整備(重点)	1 在宅生活を支援するサービスの充実
		2 日中活動や医療等のサービスの充実
		1 緊急時にも安心できる取組の強化
柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり	⑤ 暮らしを支えるサービスの充実	2 安全に生活できる環境の整備
		1 一般就労及び職場定着の促進
		2 工賃向上の取組強化
	⑥ 安心・安全な生活環境の整備	1 社会とつながる機会の充実
		2 交流・居場所づくりの促進
		1 共生意識の醸成
	⑦ 就労支援の充実(重点)	2 協働による福祉活動の促進
		1 障害の早期発見から健やかな成長のための療育支援の充実
		2 こども園・幼稚園・保育園等、地域で適切な支援が受けられる体制の強化
	⑧ 社会参加の促進(重点)	1 インクルーシブ教育システムの充実
		2 放課後や休日における居場所の充実
		1 本人や家族を対象としたライフステージで途切れない支援
柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり	⑨ 共生意識の醸成と支え合いの地域づくり	2 支援機関間の連携強化による途切れない支援
		1 乳幼児期における支援の充実
		2 学齢期における支援の充実
	⑩ 切れ目のない支援体制の構築(重点)	1 本人や家族を対象としたライフステージで途切れない支援
柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり	⑪ 切れ目のない支援体制の構築(重点)	2 支援機関間の連携強化による途切れない支援
		1 乳幼児期における支援の充実
		2 学齢期における支援の充実
	⑫ 切れ目のない支援体制の構築(重点)	1 本人や家族を対象としたライフステージで途切れない支援

施策① 包括的相談支援体制の充実(重点)

● アンケート調査結果の概要

- ●●●について、当事者では「●●●」が最も多く X.X%，次いで「●●●」が X.X%，……となっています。特に、●●障害では「●●●」が最も多く、全体を上回っています。
- ●●●について、市民では「●●●」が最も多く X.X%，次いで「●●●」が X.X%，……となっています。
-

● ヒアリング調査結果の概要

【障害福祉関係団体】

-
-
-

【委託相談支援事業所】

-
-
-

●アンケート調査結果の概要

・施策に関連し、現状や課題が表れている結果を箇条書きで記載します。

●ヒアリング調査結果の概要

・障害福祉関係団体/委託相談支援事業所別で、施策に関連する現状や課題を箇条書きで記載します。

●調査結果から見える現状やニーズ

●調査結果から見える課題

・アンケート調査結果・ヒアリング調査結果を総合した内容を箇条書きで記載します。

● 調査結果から見える現状やニーズ

- 地域で自立した生活を続けていくためには、「困った時の相談や対応支援」を必要とする意見が多くなっています。
- 困った時に気軽に相談するためには、「身近な場所に相談できるところがある」ことや「相談相手が専門的な知識を持っている」ことが多く求められています。
- 。
- 。

● 調査結果から見える課題

【相談者が利用しやすい窓口のさらなる整備】

- 相談窓口において、さまざまな悩みや困りごとにに対応するため、関係機関の顔の見える関係を作る仕組みを構築するなど、地域全体で課題解決に取り組む体制が求められています。

【●●●●●】

- 。

施策② 権利擁護体制の充実

● アンケート調査結果の概要

- ●●●について、当事者では「●●●」が最も多く X.X%，次いで「●●●」が X.X%，……となっています。特に、●●障害では「●●●」が最も多く、全体を上回っています。
- ●●●について、市民では「●●●」が最も多く X.X%，次いで「●●●」が X.X%，……となっています。
-

● ヒアリング調査結果の概要

【障害福祉関係団体】

-
-
-

【委託相談支援事業所】

-
-
-

●アンケート調査結果の概要

・施策に関連し、現状や課題が表れている結果を箇条書きで記載します。

●ヒアリング調査結果の概要

・障害福祉関係団体/委託相談支援事業所別で、施策に関連する現状や課題を箇条書きで記載します。

●調査結果から見える現状やニーズ

●調査結果から見える課題

・アンケート調査結果・ヒアリング調査結果を総合した内容を箇条書きで記載します。

● 調査結果から見える現状やニーズ

- 成年後見制度の認知度はまだ十分ではなく、今後制度を利用したいかどうか「わからない」という意見が多くなっています。
- 権利擁護に関する制度や相談窓口についての情報をどのように提供するか、工夫することが求められています。
- 。
- 。

● 調査結果から見える課題

【相談者が利用しやすい窓口のさらなる整備】

- 相談窓口において、さまざまな悩みや困りごとにに対応するため、関係機関の顔の見える関係を作る仕組みを構築するなど、地域全体で課題解決に取り組む体制が求められています。

【●●●●●】

- 。

参考資料

1. 障害者向けアンケート調査票

● 回答についてのお願い

● あて名のご本人が回答ですが、ご本人が記入できない場合は、ご家族など代理の方がご本人の代わりに、またはご本人と一緒に、回答を記入してください。

● 回答時間の目安は、20～25分程度です。

記入例

質問をよくお読みいただき、あてはまる番号を（①）はい 2.いいえ
〇で囲んでください。
数字を記入する欄は、1つの枠に1つの数字を
ご記入ください。
その他を選択した場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

使用した調査票画像を掲載します(大きさは縮小)。

市民の皆さまには、自らより柏市の障害福祉行政へのご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、柏市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実に向けて、2026年度の障害者計画の策定に向けた取組を進めています。

このアンケート調査は、障害のある方や支援が必要な方の実情やニーズを把握し、計画策定や施策の推進に役立てるため実施します。

この調査の対象者は、障害者手帳所持者、自立支援医療（精神障害、愛護者、特定疾患障害者見附金受給者の方および障害福祉サービス受給者）をお持ちの方から無作為に抽出されました。なお、この調査は無記名でご回答いただきますので、回答する方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定や施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使用されることはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

2025年8月

柏市長 太田 和美

インターネットから回答する場合、以下の二次元コードまたはQRコードから調査専用サイトにアクセスし、回答し、パスワードを入力の上、回答を始めてください。
※調査IDとパスワードは、この調査と同一回答との連絡手段を防ぐためのもので、回答する方を特定するものではありません。

【調査に関するお問い合わせ（調査実施主体）】

柏市 福祉部 障害福祉課 企画総務担当
電話：04-7167-1136 / FAX：04-7167-0294

【調査票送付（業務委託者）】

ジエイエムシー株式会社
所在地 〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目18-3 第2絆和ビル6F
※当社は柏市と守秘義務契約を締結の上、本調査結果を実施しています。

URL：<https://x.gd/t8G56>

QRコード

2. 市民向けアンケート調査票

	設問	選択肢
宛名の ご本人につ いて	問1 2025年4月1日現在の年齢をお答えください。	(数字を記入)
	問2 あなたは障害福祉に関する次の用語を知っていますか。 次の(1)～(8)それぞれの用語について、お答えください。 【それぞれ1つを選択】	
	(1)ヘルプマーク、またはヘルプカード	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(2) ノーマライゼーション	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(3) 地域共生社会	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(4) 障害者差別解消法	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(5) 成年後見制度	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(6) 医療的ケア(医ケア)	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(7) ノーマライゼーションかしわプラン	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない
	(8) 合理的配慮	1. 意味や内容を概ね知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことがない

※インターネットを通じた調査を実施したため、設問及び選択肢を一覧表形式で掲載します。

3. 障害福祉関係団体ヒアリング調査票

1 障害福祉関係団体調査		使用した調査票画像を掲載します(大きさは縮小)。													
<p>ノーマライゼーションかしわプラン2027 策定のための事前アンケート調査 ご協力のお願い</p> <p>日頃より柏市の障害福祉行政へのご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。現在、柏市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実に向けて、令和8(2026)年度の障害者計画の策定に向けた取組を進めています。</p> <p>障害のある方や支援が必要な方の実情やニーズを把握し、計画策定や施策の推進に役立てるための基礎調査として、障害福祉関係団体を対象にヒアリングを実施します。つきましては、事前アンケートへのご回答をお願いします。</p> <p>なお、回答いただいた内容は、計画策定や施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることはありません。</p> <p>ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>令和7年9月 柏市長 太田 和美</p>		<p>以下の中堅についてご記入ください。</p> <table border="1"><tr><td>団体名</td><td>記入者名</td><td>役職()</td></tr><tr><td>連絡先メール</td><td></td><td>連絡先電話番号</td></tr><tr><td>会員数</td><td></td><td></td></tr><tr><td>活動内容</td><td></td><td></td></tr></table> <p>II 団体の活動について このパートでは、貴団体の活動状況について、記載してください。</p> <p>(1) 日中の過ごし方や外出、社会参加 市では、障害のある方が個々の状態や適性に応じ、地域で生き生きと活動しえるきつがけづくりに取り組んでいます。</p> <p>問1 障害団体が提供している、障害のある方やその家族(会員を含む)に対する社会参加について、記載してください(自由記載)。</p> <p>・</p> <p>問2 上記(問1)について、課題や困りごとがあれば記載してください(自由記載)。</p> <p>・</p> <p>記入した調査票は、<u>9月16日(火曜日)</u>までに 障害福祉課宛のメールに添付してご提出ください。</p> <p>【調査票提出先・調査に関するお問合せ】 柏市 福祉部 障害福祉課 企画総務担当 電話:04-7167-1136 / FAX:04-7167-0294 E-MAIL:info-shg@city.kashiwa.chiba.jp</p>		団体名	記入者名	役職()	連絡先メール		連絡先電話番号	会員数			活動内容		
団体名	記入者名	役職()													
連絡先メール		連絡先電話番号													
会員数															
活動内容															

4. 委託相談支援事業所ヒアリング調査票

I 養事業所について 以下の内容についてご記入ください。	
事業所名 記入者名 連絡先 メール	役職() 連絡先 電話番号
II 包括的相談支援体制の構築について 市では、多様化・複合化する福祉問題に対応するため、地域生活支援拠点や委託相談支援事業所が中心となって各事業所との連携を図り、身近な場所で気軽に相談できる包括的相談支援体制の構築に取り組んでいます。	
問1 体制づくりの中核機関として、担当する地域の包括的相談支援体制の構築について、どの程度達成できていると思いますか(「はい」ひとつ)。 <input type="checkbox"/> 1. 達成できている <input type="checkbox"/> 2. 略ね達成できている <input type="checkbox"/> 3. どちらとも言えない <input type="checkbox"/> 4. あまり達成できていない <input type="checkbox"/> 5. 全く達成できていない	
III 基礎調査と実施調査について 市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実に向けて、令和8(2026)年度の障害者計画の策定に向けた取組を進めています 障害のある方や支援が必要な方の事情やニーズを把握し、計画策定や施策の推進に役立てるための基礎調査として、委託相談支援事業所を対象にヒアリングを実施します。 つきましては、事前アンケートへのご回答をお願いします。 なお、回答いただいた内容は、計画策定や施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることはありません。 ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力ください。 ようろしくお願い申し上げます。	
問2 上記・問1的回答について、「達成できている」と思うこと、「課題」とその「対応策」について記載してください(自由記入)。	
IV 調査票提出先・調査に関するお問合せ 記入した調査票は、 9月16日(火曜日) までに 障害福祉課宛のメールに添付してご提出ください。 【調査票提出先・調査に関するお問合せ】 柏市 福祉部 障害福祉課 企画総務担当 電話:04-7167-1136 / FAX:04-7167-0294 E-MAIL:info-shgff@city.kashiwa.chiba.jp	

委託相談支援事業所調査	
ノーマライゼーションかしわプラン2027 策定のための事前アンケート調査 ご協力のお願い	
日頃より柏市の障害福祉行政へのご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。 現在、柏市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実に向け、令和8(2026)年度の障害者計画の策定に向けた取組を進めています 障害のある方や支援が必要な方の事情やニーズを把握し、計画策定や施策の推進に役立てるための基礎調査として、委託相談支援事業所を対象にヒアリングを実施します。 つきましては、事前アンケートへのご回答をお願いします。 なお、回答いただいた内容は、計画策定や施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることはありません。 ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力ください。 ようろしくお願い申し上げます。	
柏市長 太田 和美	問7年9月
ご記入にあたつてのお願い	
1. 地域における相談支援の中核機関である「委託相談支援事業所」として、回答をおお願いいたします。 2. 個人情報保護の観点から、回答には個人を特定する内容(利用者の名前や住所等)を記入しないでください。 3. 回答は、令和7(2025)年8月末日の状況についてご回答ください。 4. 回答欄は、必要に応じて枠を上下に広げてご回答ください。ページ裏面アートが描かれた状態での提出でも差し支えありません。	
対応策	(地域の中で、どのような取組をすることが望ましいと考えですか) 記入した調査票は、 9月16日(火曜日) までに